



福岡看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF NURSING, FUKUOKA NURSING COLLEGE



看護学研究科

看護学専攻

修士課程

2027
令和9年度

福岡看護大学大学院

保健医療福祉に関する幅広い知識を身に付け、
専門性を自ら深め、学術的に研究を実践・応用できる研究者、
教育者及び高度な実践的指導者を養成します。

理事長メッセージ



学校法人 福岡学園 理事長
九州大学 名誉教授
すいた さちよ
水田 祥代

世界の政治や経済が大きく揺れ動く中で少子超高齢社会も歯止めがかからず、人々の健康を維持し
明るい未来を開拓できる優れた人材の育成が高等教育機関に強く求められています。このような社会の
変化を見据え「口腔の健康を通して全身の健康を守る」ことを主軸とし、2021年4月には大学院研究科
修士課程を開設し、優れた教育・研究能力を備えた医療職者を輩出して参りました。

このように発展を続けている本学の背景には、「口腔医学」を推進し歯科医師を養成する福岡歯科大学、
地域医療を担う医科歯科総合病院、歯科衛生士を育成する福岡医療短期大学、高齢者福祉に資する
介護老人保健施設など「医療・保健・福祉を推進する福岡学園」があります。2020年秋に新築された医
科歯科総合病院に続き、2022年夏には福岡歯科大学創立50周年記念講堂も完成し、2025年夏には歯
科大学と医療短期大学が合体した新本館も完成しました。新キャンパス整備計画のもと研究設備も
整ってきました。

さらなる地域医療の推進と健康長寿社会の実現に向けて、人々の尊厳を保ち、その人らしい最適な
暮らしとwell-beingを支える看護専門職者のみならず保健医療の分野で指導的立場にたつ実践者、教
育者、研究者、管理者などの育成を進めてまいります。

高い志を持って共に学ばんとされる方々のご来校をお待ちしています。

九州大学医学部卒業、九州大学大学院医学研究科修了。英国留学、福岡市立こども病院小児外科部長、九州大学医学部小児外科講座教
授を経て、2004年4月九州大病院長、2008年10月九州大学理事・副学長に就任。2010年6月から学校法人福岡学園(旧福岡歯科学園)
理事・評議員。2015年3月より、理事長に就任。

学長メッセージ



福岡看護大学 学長
ちしゃき あきこ
檜木 晶子

本学の大学院研究科は、人々の命と生活を支え、豊かで平和な社会を創造することを目指して2021
年4月に設置され、修了生を送り出してきました。看護のみならず、歯科、医科、口腔衛生の領域で優
れた指導者が揃っており、より高度な実践力や論理的思考力を備える実践者、管理者、教育者や研究者を
看護に限らず保健医療の分野において養成します。大学院教育は知識や技術を身に付けるだけでなく
思索し、疑問を探求する場です。科学的に分析・解釈する力とその応用を学修します。臨床現場や地域・
教育現場で遭遇した疑問、解決したい課題を明らかにして行く過程を経て、より良い実践がなされてゆ
きます。看護・保健・医療・福祉を科学的に分析する能力を修士過程で磨いてみませんか。

口腔医学研究センターや福岡歯科大学の基礎研究部門、研究フィールドとしての総合病院や介護施
設などにも恵まれ、多領域の指導者が看護・保健医療福祉の様々なニーズに応え研究指導しています。

特に超高齢社会で注目されている口腔医学・歯学・看護学分野では先駆的研究がなされており、今後、
我が国の医療を支える重要な分野となります。これから大きく発展するこの新しい分野を含めて、様々
な領域で進取の気持ちと好奇心を持って皆様と伴に切磋琢磨できることを願っています。

九州大学医学部医学科卒業、同大学院医学研究科修了、同大病院循環器内科入局、米国留学、九州大病院・助手、講師を経て九州大学
医学部保健学科・助教授の後、教授。さらめきプロジェクトキャリア支援センター副センター長、九州大学総長特別補佐、九州大学医学部保
健学科長、福岡歯科大学客員教授、2021年4月より福岡看護大学副学長、福岡看護大学大学院研究科長を経て、2023年4月より福岡看護
大学学長に就任。(福岡歯科大学医科歯科総合病院健診センター長併任)

研究科長 メッセージ



健康支援看護部門 教授
いいの ひでちか
飯野 英親

現代の保健医療福祉は、個々の対象者に応じた個別性の高い実践と、科学的根拠に基づく判断の両
立が求められる、極めて専門性の高い実践領域です。看護師をはじめ、歯科衛生士、社会福祉士、介護
職など、さまざまな専門職が連携しながら、複雑な状況に柔軟に対応し、質の高いケアを提供すること
への期待はますます高まっています。その期待に応えるためには、臨床・実践現場での経験に加えて、理
論的思考や研究的視点を身につけることが、これまで以上に重要になります。

本研究科では、看護学を基盤としながらも、保健・医療・福祉にかかわる多様な専門職の方々が、それ
ぞれの実践経験に根ざした問いを深め、研究へと昇華させることができる場を提供しています。こうし
た学修を通じて、専門領域の枠を超えて保健医療福祉の諸課題に新たな視点からアプローチする力が
培われます。

学部で得た知識をさらに発展させたい方、臨床・実践での経験を研究や教育に活かしたい方、職種を
問わず歓迎します。ぜひ本研究科でその一歩を踏み出してみませんか。看護学をより深く理解し、広く
保健医療福祉の発展に貢献したいと願うすべての方々を、私たちは心より歓迎します。ともに、新たな
未来を切り拓いていきましょう。

山口大学医療技術短期大学部卒業、青山学院大学教育学科卒業、山口大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。日本医科大学付属病
院小児病棟看護師、山口大学医療技術短期大学部助手、同大学医学部保健学科講師、同大学医学部附属病院副看護部長、西南女学院大学
看護学科教授、平成2017年4月より福岡看護大学教授・学部長、2021年同大学大学院副研究科長を経て、2025年4月より同大学大学院
研究科長に就任。

学校法人 福岡学園

医療・保健・福祉の総合学園としての強みを活かした独自の教育環境

学校法人「福岡学園」は福岡歯科大学をはじめ、福岡歯科大学医科歯科総合病院、福岡医療短期大学を設置し、キャンパス内に介護老人保健施設や特別養護老人ホーム、保育園を擁する医療・保健・福祉の総合学園です。



福岡看護大学



福岡歯科大学・福岡医療短期大学



福岡歯科大学医科歯科総合病院



50周年記念講堂



介護老人保健施設 サンシャインシティ



ぺんぎん保育園



社会福祉法人 学而会 特別養護老人ホーム
サンシャインプラザ



社会福祉法人 学而会 特別養護老人ホーム
サンシャインセンター

■ 福岡学園 沿革

1972	学校法人福岡科学園寄附行為認可 福岡歯科大学設置認可
1973	福岡歯科大学附属病院開設 福岡歯科大学開学
1985	福岡歯科大学大学院開設
1997	福岡医療短期大学開学
1999	福岡医療短期大学専攻科歯科衛生学専攻開設
2000	福岡医療短期大学保健福祉学科開設
2002	介護老人保健施設サンシャインシティ開設
2005	病院名を福岡歯科大学医科歯科総合病院に改称
2008	福岡医療短期大学歯科衛生学科の専攻科が大学評価・学位授与機構の認可をえて学士(口腔保健学)の専攻科として認定
2011	法人名を福岡学園に変更認可 福岡歯科大学口腔医療センターを開設
2013	福岡歯科大学歯学部歯学科を口腔歯学部口腔歯学科に名称変更
2017	福岡看護大学開学 ペんぎん保育園開園
2020	福岡歯科大学医科歯科総合病院新病院開院
2021	福岡医療短期大学保健福祉学科廃止 福岡看護大学看護学研究科看護学専攻修士課程開設
2022	50周年記念講堂竣工
2025	福岡歯科大学 福岡医療短期大学 新本館 竣工

看護学専攻修士課程の教育目標

「学びの方針」

3つのポリシー

教育研究上の目的

保健医療福祉に関する幅広い知識を身に付け、専門性を自ら深め、学術的に研究を実践・応用できる研究者、教育者及び高度な実践的指導者を養成することを目的とする。

AD 入学者受入方針

「アドミッション・ポリシー」

教育課程編成・実施の方針

「カリキュラム・ポリシー」

DP 学位授与の方針

「ディプロマ・ポリシー」

1. 保健医療福祉に対する興味と関心並びに学習意欲を有している。
2. 保健医療福祉に関する基礎的な知識及び基本的な技術と態度を有している。
3. 物事を多面的かつ論理的に考察し、適切に判断することができる。
4. 自分の考えを的確に表現し、相手に確実に伝達することができる。

1. カリキュラム編成の方針

保健医療福祉の実践現場を牽引する教育者や管理者を目指すための基盤となる「看護基盤科目」、科学的かつ高い専門的能力を養成する「看護統合科目」、多様で質の高い能力の醸成を目指す「看護領域科目」、および保健医療福祉の実践を普遍化・一般化する根拠となる研究力を養う「看護研究科目」の4つの科目区分により教育課程を編成する。

- 1) 対象者のwell-beingを目指した適切な健康支援のあり方と高度なコミュニケーション技法を活用した応用的な実践能力および基礎的研究能力を養成するために「看護基盤科目」を配置する。
- 2) エビデンスに基づく口腔ケアを提案・推進する実践能力を基盤とし、高い倫理観、看護教育、看護管理、病態生理など、保健医療福祉活動に関する専門的な能力を養成するために「看護統合科目」を配置する。
- 3) 様々な健康状態や多様な場で保健医療福祉を必要とする人々に対し、科学的な思考のもと、質の高い保健医療福祉活動を創設する能力を養成するために「看護領域科目」を配置する。
- 4) 保健医療福祉活動に関する研究課題を探究し、研究計画を遂行する能力や批判力、論理性、表現力を養成するために「看護研究科目」を配置する。

2. カリキュラム実施の方針

カリキュラムの実施に当たっては、学生の専門性を深める科目選択支援を行い、ゼミやプレゼンテーションおよびディスカッション、演習を多用した科目運営によって、実践的・主体的に課題解決する能力を涵養し、特別研究へ有機的に繋がるよう配慮し、ディプロマ・ポリシーに定めた能力の修得を促す。

学修成果は、各科目の成績評価および科目の実施状況とその評価を基準に沿って行うとともに、担当教員による学生との面接や、授業評価アンケート、質問紙調査、修士論文の審査を通じて総合的に評価する。

大学院看護学研究科看護学専攻においては、2年以上在学し、所定の単位を修得するとともに、所定の研究指導を受けて、修士論文を提出の後、論文審査及び口頭試問による試験に合格した者であり、次に掲げる能力を有すると認められる者に修士（看護学）の学位を授与する。本大学院が意味する看護とは、保健医療福祉を必要とする人々や家族に対するケア、集団やコミュニティを対象とした健康増進・疾病予防活動を示している。

1. 口腔を起点として全身の健康を支援する活動を基盤とした保健医療福祉実践の質的転換を図る能力を身に付けている。
2. 保健医療福祉における活動に関する最新の知見や動向に関する理解と俯瞰的なものの見方や実践的な应用能力を身に付けている。
3. 保健医療福祉を必要とする対象の特性やその場面に応じた現象を科学的に探究し、臨床教育・継続教育で実践するための高度な専門知識と应用能力を身に付けている。
4. 保健医療福祉における実践の改善・開発に必要となる研究マインドと、研究の遂行能力を身に付けている。

授業科目及び修了要件

「学びのコース」 カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	
			必修	選択
看護基盤科目	健康支援特論	1年前期	2	
	対人関係特論	1年後期	2	
	看護研究方法	1年通年	4	
看護統合科目	口腔医療看護特論	1年通年	2	
	看護倫理特論	1年前期	2	
	看護教育特論	1年後期		2
	看護管理特論	2年前期		2
	病態生理特論	2年前期		2
看護領域科目	看護援助特論	1年通年		4
	看護・口腔医療連携特論	1年通年		4
	看護病態特論	1年通年		4
	成人看護特論	1年通年		4
	高齢者看護特論	1年通年		4
	精神看護特論	1年通年		4
	母子看護特論	1年通年		4
	公衆衛生看護特論	1年通年		4
看護研究科目	看護特別研究	1年通年、2年通年	10	

修了要件

修了要件については、体系的に教育の課程を履修し、修了に必要な単位として、「看護特別研究」10単位を含む30単位以上を修得するとともに、所定の研究指導を受けて、修士論文を提出の後、論文審査及び口頭試問による試験に合格すること。

看護特別研究内容

＼ 教員紹介 ＼

看護特別研究担当教員の研究内容

*研究指導内容は下記に限ったものではありません。

担当教員	研究内容
基礎・基礎看護部門	<p>晴佐久 悟 (haresaku@fdcnet.ac.jp) 口腔機能の低下と食欲・体力低下との関係及び器質的口腔ケアと機能的口腔ケアによるオーラルフレイル予防効果や誤嚥性肺炎をはじめとする口腔内細菌による感染予防について研究指導を行う。</p>
	<p>山下 久恵 (青木) (aoki@fdcnet.ac.jp) 認知心理学の知見に基づいた看護教育に関する研究、および口腔アセスメントから口腔機能の向上に向けた口腔ケアに関する研究指導を行う。</p>
	<p>秋好 久美子 (akiyoshi.km@fdcnet.ac.jp) 学童が心臓、血圧のメカニズムや口腔ケアと循環器疾患の関連について遊びながら学び、疾病予防の概念を身につける教育プログラムの開発について研究指導を行う。</p>
	<p>荒川 満枝 (arakawam@fdcnet.ac.jp) 感染対策に関する医療関連施設の状況把握や対策の効果、地域や事業所等の感染症対策や感染防止教育などの感染管理について研究指導を行う。</p>
	<p>松尾 和枝 (matsuo.kz@fdcnet.ac.jp) 看護基礎教育および継続教育の場における看護教育方法や人材育成、患者への教育的支援に関する研究指導を行う。</p>
	<p>門司 真由美 (monji@fdcnet.ac.jp) 看護教育における口腔のアセスメントやケアに関する研究、および色彩を含めた療養環境に関する研究指導を行う。</p>
健康支援看護部門	<p>樗木 晶子 (chishaki@fdcnet.ac.jp) 循環器疾患患者の看護や口腔ケアにおける心身のアセスメント及び、循環器疾患増悪因子の評価と病態生理について研究指導を行う。</p>
	<p>岩本 利恵 (iwamoto@fdcnet.ac.jp) 慢性疾患や難病を抱える患者における患者力を高める患者中心のシミュレーション教育、多職種連携教育について研究指導を行う。</p>
	<p>内田 荘平 (uchidas@fdcnet.ac.jp) 周術期および周麻酔期に関連する有害事象のリスクと予防的看護援助方法（医療安全、感染管理、ME 機器管理、創傷管理、手術体位、手術褥瘡、滅菌管理、他）について研究指導を行う。</p>
	<p>飯野 英親 (iino@fdcnet.ac.jp) 染色体異常など遺伝性疾患児、障がい児、小児慢性疾患児への看護アプローチと家族支援の方法について研究指導を行う。</p>
	<p>田出 美紀 (taidem@fdcnet.ac.jp) 夫婦のコミュニケーションスタイル、周産期の抑うつに対する看護援助の方法、母性・助産学教育システム開発について研究指導を行う。</p>
地域・在宅看護部門	<p>青野 広子 (aono@fdcnet.ac.jp) 親子関係の構築と安定に関連した看護、および、慢性状態にある子どもと家族を対象とした看護について研究指導を行う。</p>
	<p>宮園 真美 (miyazonom@fdcnet.ac.jp) 地域療養者を対象とした看護および口腔ケアや温熱刺激に関連した看護に関する研究指導を行う。</p>
	<p>吉田 大悟 (yoshidad@fdcnet.ac.jp) 地域住民における健康課題および生活習慣病の実態とその関連因子の解明について研究指導を行う。</p>
<p>原 やよい (hara@fdcnet.ac.jp) 精神疾患患者を対象とした看護および口腔ケアや療養環境に関連した看護に関する研究指導を行う。</p>	

／ 修学支援 ／

長期履修制度

職業を有している場合、修業年限の2年を超えて3年あるいは4年での履修を認める制度です。学費についても3年または4年の在籍期間に応じて分割納入することが可能となり、就業しながらでも修学できるよう配慮されています。

また、履修指導や研究指導は、専任教員が対象院生と相談をしながら、勤務状況や生活実態を考慮し、個別対応を行います。

ティーチング・アシスタント制度

大学院に在学する院生を対象に、ティーチング・アシスタント(以下TA)制度を設けています。TA制度とは、院生が担当教員の指導・監督の下、学部教育における教授法や教材作成の学修、教育面でのリーダーシップの育成などを図る機会を提供することを目的としており、手当も支給されます。

働きながらの修学

本学では社会人学生に対する履修上の配慮として、大学院設置基準第14条特例を適用し、夜間、土日等の特定の時間、時期に授業や研究指導を行うという教育を実施しています。

／ 修了後の進路 ／

高度専門職業人として

- 保健・医療・福祉・看護の分野において、質の高いケアの提供に携わり、保健医療福祉の実践現場での管理職として中核的な役割を担う。
- 保健医療、福祉及び行政機関における専門職

研究者・教育者として

- 保健医療福祉分野に関する専門的な知識と応用する能力とともに、保健医療福祉の研究に必要な研究方法を身につけ博士課程へ進学し、研究職・教育職を目指す。
- 国公立及び民間各種研究機関研究員
- 大学教育・研究機関における教員及び研究員

｜ 修了生Interview ｜

福岡看護大学大学院 (看護学研究科)での学びを終えて



福岡歯科大学医科歯科総合病院勤務
2025年度修了 辰島 敦子さん

大学院での学びは、私にとって大変貴重な時間となりました。本学には、看護師や歯科衛生士として臨床で活躍しながら学ぶ方、教職やティーチング・アシスタント制度を活用し教育に携わりながら研鑽を積む方など、多様な背景を持つ院生が在籍しています。年代も経験も異なる仲間と議論を重ね、互いに刺激し合い、励まし合いながら学びを深めることができました。

先生方のご講義は、これまでの実践経験を理論的に照らし直す機会となり、新たな視座を与えてくださいました。また、研究指導を通して、研究方法だけでなく研究者としての在り方そのものを学ばせていただきました。

本研究科での経験は、自身の看護観や専門職としての在り方を見つめ直す契機となり、今後の歩みを支える確かな礎になると感じています。これから進学を志す方々にとっても、多様な仲間とともに学ぶこの環境が、大きな成長の機会となることを願っております。

大学院概要

名称	看護学研究科 看護学専攻 修士課程
入学定員	5名 [収容定員10名]
修業年限	2年 [長期履修制度あり]
学位	修士 [看護学]
入学金	200,000円 [本学出身者100,000円]
授業料等	700,000円 [授業料600,000円/教育充実資金100,000円]



入学試験

入学試験区分	一般入試	社会人入試
募集人数	5名(一般入試・社会人入試あわせて)	
出願期間	[前期] 令和8年11月 9日(月)~令和8年11月17日(火)必着 [後期] 令和9年 1月 4日(月)~令和9年 1月12日(火)必着	
試験日	[前期] 令和8年11月24日(火) [後期] 令和9年 1月18日(月)	
合格発表	[前期] 令和8年11月30日(月) [後期] 令和9年 1月25日(月)	
試験科目	○英語 ○小論文 ○面接試験	○小論文 ○面接試験
入学検定料	35,000円	

*英和辞書一冊のみ使用可

※出願にあたっては、あらかじめ希望する研究指導教員と相談のうえ、手続きを進めてください。

※詳細は入試要項で必ず確認してください。

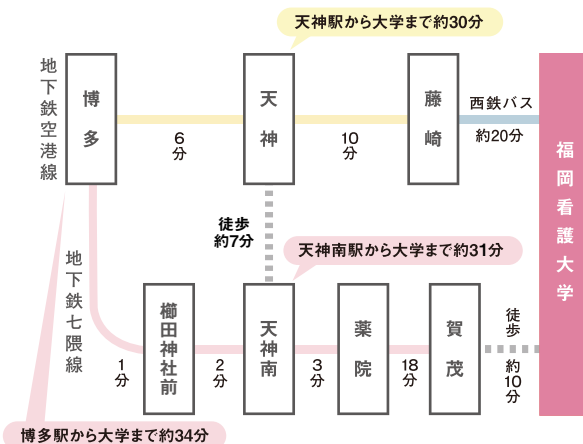
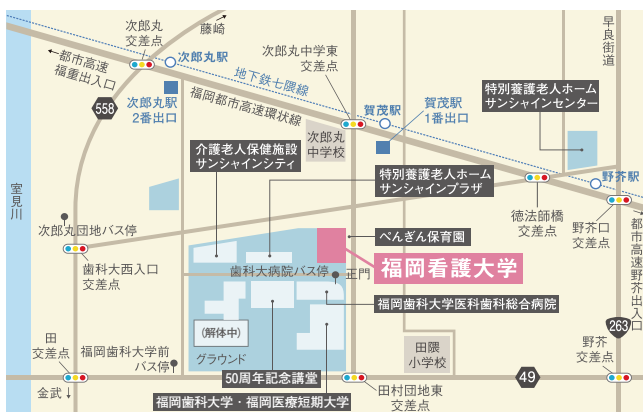
事務問い合わせ先
事務課 TEL 092-801-0486

大学院説明会 令和8年8月22日(土) 14:00

アクセスマップ

ACCESS MAP

福岡看護大学は地下鉄七隈線「賀茂」駅から徒歩10分。
博多、天神、福岡空港、各エリアからのアクセスも便利です。



学校法人 福岡学園

福岡看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF NURSING, FUKUOKA NURSING COLLEGE

〒814-0193 福岡県福岡市早良区田村二丁目15番1号 [事務課] TEL.092-801-0486 FAX.092-801-0412

お問い合わせ・受付対応時間9:00~17:00(土日祝休)

[URL] <https://n.fdcnet.ac.jp/> [E-mail] knyushi@fdcnet.ac.jp



学校法人 福岡学園

福岡歯科大学 福岡歯科大学医科歯科総合病院 福岡看護大学 福岡医療短期大学
介護老人保健施設サンシャインシティ ペんぎん保育園